

令和8年度

愛知県栄養教諭研究協議会

要 覧

I 協 議 会 の 紹 介

目的

学校における食育推進の中核を担う栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

会長あいさつ

本協議会の会員は、愛知県内の小中学校、特別支援学校、夜間定時制高等学校などに勤務する、268名の栄養教諭・学校栄養職員です。それぞれの職場において、日々、学校給食の充実と食育の推進に努めています。平成18年度に初めて愛知県に栄養教諭が10名誕生してから20年が経過し、現在は246名の会員が栄養教諭として勤務しております。

児童生徒が健康な心身を育み、将来にわたって健全な食生活を実践するためには、望ましい食習慣を身に付けることが必要です。そのため、栄養教諭には、学校の教育活動全体で組織的に食育に取り組む「マネジメント力」や、教職員及び家庭・地域とさまざまな場面で連携して食育を進める「コーディネート力」を高めていくことが求められています。

昨年度、文部科学省より「栄養教諭等による食に関する指導等の充実について（通知）」が発出されました。通知では、栄養教諭がチーム学校の一員として、専門性を発揮しながら学校食育推進の中核を担うことが、改めて示されました。また、今年度より「あいち食育いきいきプラン2030～第5次愛知県食育推進計画～」がスタートしました。この計画では、県民一人一人が食について自ら考えて選択することがテーマに掲げられています。食を取り巻く環境が大きく変化する中、大人はもちろん、子どもたちにも主体性が求められています。子どもたちが食の大切さに気づき、よりよい食生活を自ら築きあげていくことができるように、栄養教諭が果たす役割はいっそう重要となっています。

本協議会として、栄養教諭・学校栄養職員が子どもたちのために職責を十分に果たせるよう、研修会をはじめさまざまな事業を通して、会員の資質向上に取り組んでまいります。

関係機関の皆様には、今後とも引き続き、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会長 毛利 敦子

活動目標

「食を通して育てよう、未来を担う愛知の子どもたち！」

基本方針

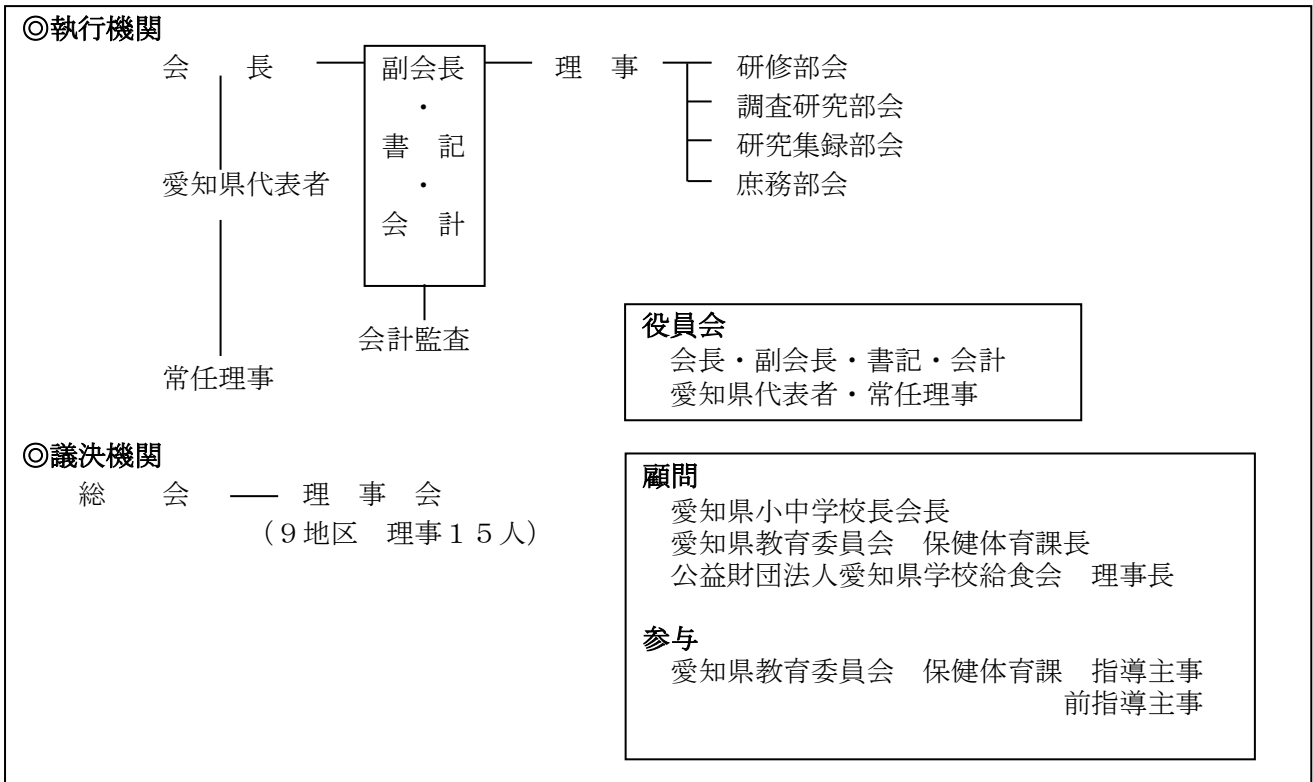
近年の食を取り巻く環境の変化により、子どもたちの食に関わる課題は多様化・複雑化している。偏った栄養摂取や不規則な食事などの食生活の乱れ、肥満や過度のやせ、食物アレルギー疾患など食に関する健康課題のある子どもたちは増加傾向にあり、今後の子どもたちの健全な成長に影響を及ぼすことが危惧される。

このような中、生きる力の基盤となる食を通して、次世代を担う子どもたちの望ましい食習慣の形成と生涯にわたる健康の保持増進、ならびに豊かな人間性を育むため、学校における食育の充実と一層の推進を図ることが大切である。

そのためには、「あいち食育いきいきプラン2030～第5次愛知県食育推進計画～」や「健康日本21（第三次）」を踏まえ、学校教育活動において子どもの実態や地域の状況に沿った食育を計画的・継続的に推進するとともに、「栄養教諭等による食に関する指導等の充実について（通知）」（文部科学省）を受け、栄養教諭等の専門性を発揮して職務を遂行することができるように、研究や研修等を充実させることが重要である。

子どもたちの健やかな成長のために、栄養教諭等の専門性を高め、学校における食育の中核的な役割を担う教育職員としての資質向上を図る。

Ⅱ 研究会組織図



※常任理事（公益社団法人全国学校栄養士協議会 理事）
愛知県代表者（公益社団法人全国学校栄養士協議会 愛知県代表者）

愛知県栄養教諭研究協議会 会則（抜粋）

（本部）

第2条 本会の本部は、会長在任所属に置く。

（目的）

第3条 学校における食育を推進する栄養教諭及び学校栄養職員の資質向上を図る。

（組織）

第4条 本会の会員は、愛知県内の栄養教諭・学校栄養職員等とする。

（事業）

第5条 本会は、第3条の目的を達成するため、次のことを行う。

- (1) 学校における食育の推進と学校給食の充実向上に関する調査研究に関すること。
- (2) 会員の研修その他資質の向上に関すること。
- (3) 愛知県教育委員会その他関係団体との連携に関すること。
- (4) 会員の社会的地位の向上と職務の確立に関すること。
- (5) その他目的を達成するために必要なこと。

Ⅲ 協議会の事業

事業内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度
研修会 及び 総会の 開催	5月22日(水) 総会(出席249名・委任状32名) 《研修会》 講演 「SDGs(持続可能な開発目標)」 愛知県政策企画局企画調整部 企画課 加藤 健太氏	5月30日(金) 総会(出席231名・委任状39名) 《研修会》 講演 「実践活動が見える化する!実践活 動報告と実践研究」 名古屋学芸大学管理栄養学部 管理栄養学科兼大学院栄養科学 研究科 教授・学科長 塚原 丘美氏	5月27日(水) 総会(出席239名・委任状26名) 《研修会》 講演 「Health から Wellness ～幸せを 与える栄養教諭～」 臨床心理士 公認心理師 山口 力氏
研究大会 の開催	8月20日(火) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席249名) ・研究発表(2題) 指導助言 一宮市(中島地区) 瀬戸市立にじの丘小学校 栄養教 諭 杉野由起子氏、東浦町立北部 中学校 栄養教諭 小田敦子氏 豊田市(豊田みよし地区) 西尾市立鶴城小学校 栄養教諭 丸山真奈美氏、愛知県教育委員会 保健体育課指導主事 平林加奈氏	8月25日(月) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席234名) ・研究発表(2題) 指導助言 瀬戸市(愛日中部地区) 瀬戸市立にじの丘小学校 栄養教 諭 杉野由起子氏、東浦町立北部 中学校 栄養教諭 小田敦子氏 岡崎市(西三河地区) 西尾市立鶴城小学校 栄養教諭 丸山真奈美氏、愛知県教育委員会 保健体育課指導主事 平林加奈氏 ・講演 「栄養教諭を中核としたチーム学 校づくり」 愛知県教育委員会 保健体育課 主査 天野 万喜男氏	8月20日(木) 愛知県教育委員会 (公財)愛知県学校給食会 の後援で開催 (出席 名) ・研究発表(2題) 大府市(知多地区) 春日台(特別支援)
調査研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン 2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題 について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン 2025」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題 について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究	《県内研究》 ・「あいち食育いきいきプラン 2030」に沿った研究 ・学校給食及び食育の今日的課題 について県内で調査研究 ・衛生管理面を配慮した献立の工夫 研究授業方式による衛生管理の研究
研究集録 の発行	研究集録「はぐくみ」 令和7年3月(第34号)発行	研究集録「はぐくみ」 令和8年3月(第35号)発行	研究集録「はぐくみ」 令和9年3月(第36号)発行予定

事業内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<p>自主研修会 開催</p>	<p>◎資質能力向上研修会 ・1日目(対面) 8月25日(日) 参加者85名 ・2日目(対面) 10月27日(日) 参加者72名 「教科と給食の時間に行う食に関する指導について」 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏</p> <p>◎地区別研修会 13回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏 西尾市立鶴城小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭少経験者研修会 9月8日(日)参加者16名 栄養教諭経験者年数別研修会【後期】 12月22日(日)参加者27名 栄養教諭経験者年数別研修会【前期】 1月19日(日)参加者47名 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏 西尾市立鶴城小学校 丸山 真奈美氏</p>	<p>◎資質能力向上研修会 1月25日(日) 参加者102名 「危機管理について」 東浦町立北部中学校 小田 敦子氏 「栄養教諭が学校組織の一員になるために」 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏 「衛生管理について」 西尾市立鶴城小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎地区別研修会 8回開催 各地区の課題解決に向けた研修 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏 西尾市立鶴城小学校 丸山 真奈美氏</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 栄養教諭経験1・2年目研修会 9月6日(土)参加者16名 栄養教諭経験3～5年目研修会 9月15日(月)参加者17名 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏 西尾市立鶴城小学校 丸山 真奈美氏 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】修了者研修会 12月14日(日)参加者21名 中堅栄養教諭資質向上研修【前期】修了者研修会 2月11日(水)参加者15名 瀬戸市立にじの丘小学校 杉野 由起子氏 西尾市立鶴城小学校 丸山 真奈美氏 東浦町立北部中学校 小田 敦子氏</p>	<p>◎資質能力向上研修会 月 日()</p> <p>◎地区別研修会 回開催 各地区の課題解決に向けた研修</p> <p>◎栄養教諭経験年数別研修会 臨時的任用栄養教諭研修会 月 日() 栄養教諭経験2・3年目研修会 月 日() 栄養教諭経験4・5年目研修会 月 日() 中堅栄養教諭資質向上研修【前期】修了者研修会 月 日() 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】修了者研修会 月 日()</p>

事業内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度
全国理事会等の参加 (1)公益社団法人全国学校栄養士協議会の参加	東京都・リモートにて24回	東京都・リモートにて17回	東京都・リモートにて 回
(2)学校給食夏季講習会派遣	第60回学校給食夏季講習会 7月20日～21日 オンライン形式・動画配信	第61回学校給食夏季講習会 7月19日～20日 オンライン形式・動画配信	第62回学校給食夏季講習会 7月18日～19日 オンライン形式・動画配信
(3)全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会等参加	第1回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 8月1日～8月2日 (長野県)対面開催	第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 8月5日～8月6日 (茨城県)対面開催	第3回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会 7月28日～7月29日 (熊本県)対面開催
役員会の開催	16回開催（リモート開催含む）	12回開催（リモート開催含む）	回開催
理事会及び部会の開催	4回開催 部会 ・研修庶務部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・食育推進部会	5回開催 部会 ・研修部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・庶務部会	4回開催予定 部会 ・研修部会 ・調査研究部会 ・研究集録部会 ・庶務部会

IV 栄養教諭の取組

◎朝食の重要性を理解し、栄養バランスを考えて毎日朝食を食べる子の育成

一人一人の朝食改善に向けた指導実践例（瀬戸市）

本中学校では、中学2年生を対象に朝食の摂取状況について調査を行った。その結果、「毎日朝食を食べている」と回答した生徒は68.6%にとどまり、「あいち食育いきいきプラン2025」に示されている目標値である98%以上とは大きな差が見られた。また、朝食の内容についても、主食のみを食べている生徒が少なくないことが明らかとなった。そこで、栄養教諭、教職員の願いを込めて主題を「朝食の重要性を理解し、栄養バランスを考えて毎日朝食を食べる子の育成」とした。

まず、家庭科で学習した6つの食品群や、保健体育科で学習した食事バランスガイドの考え方を活用し、自分の朝食を振り返る学習を行った。さらに、実際に家庭で朝食作りに挑戦し、その後期間を決めて朝食内容の改善に取り組んだ。実践を進める中で生活習慣にも課題が見られたため、学年主任と連携し、学級活動において食事と生活リズムの関係について学習する機会を設けた。その結果、朝食を毎日食べている生徒の割合は68.6%から76.7%へと増加し、主食のみを食べている生徒は26.7%から10.5%へと減少した。家庭と連携した取組により、生徒や保護者の朝食に対する意識の高まりが見られた。一方で、欠食傾向の強い生徒への継続的な支援が今後の課題として挙げられた。



【学級活動で話し合ったことを発表する様子】

◎集団での給食活動における個別最適な栄養摂取を目指した取組

家庭科、学級活動・給食時間の活動を通じた指導実践例（岡崎市）

本中学校では、市内でも給食の残食率は低いものの、給食巡回時にご飯やおかずの量を極端に減らしたり増やしたりする生徒が見られた。そこで、過剰摂取や摂取不足を防ぎ、生徒一人一人が自分に合った適量を摂取することができるよう「集団での給食活動における個別最適な栄養摂取」を主題とし、給食におけるご飯の適量摂取の実践を進めた。

実践の柱は、生徒自身が自分の適量を知ることと、「いただきます」の時点で各自の適量が盛り付けられている状態を目指すことである。家庭科の授業では「日本人の食事摂取基準」を用いて自分の適量について学習し、学級活動では「どのように配膳すると多くの生徒が適量を食べられるか」を課題に、給食当番の配膳方法について話し合った。実践前と家庭科授業後、学級活動後の計3回、給食時のご飯の摂取量をそれぞれ3日間計測・記録したところ、適量を摂取できている生徒の割合は、実践前25.0%、家庭科授業後31.7%、学級活動後42.3%と段階的に改善が見られた。しかし、適量に対する意識は少しずつ薄れていくだけでなく、成長に伴って適量も変化していくため、今後も継続的な指導をしていきたい。



【ご飯の量をはかる生徒】

◎「地場産物を活用しよう」

第4次愛知県食育推進計画「あいち食育いきいきプラン2025」では、「食を通じて豊かな心を育む」、「食を通じて環境に優しい暮らしを築く」等を目指している。その施策の一つとして、学校給食で地場産物の活用率45%以上を目標として取り組んでいる。学校給食で地場産物を活用することは、児童生徒や保護者が地域や地域の産物、食文化への理解を深め、より豊かな食生活を送るための意欲を高める機会となる。愛知県では、6月19日の「食育の日」を中心に「愛知を食べる学校給食の日」等の名称で年3回、学校給食に地場産物や地域に伝わる郷土料理・郷土の食文化等を多く取り入れた献立を実施し、児童生徒や保護者向けに啓発資料を作成し、指導に役立てている。

地場産物を取り入れた献立の紹介

愛西市

愛西市では、地場産物への理解を深め、野菜を進んで食べる児童生徒を育てたいという考えから、年間献立計画に基づき、愛西市産や愛知県産の食材を使用している。6月19日の「愛知を食べる学校給食の日」には、「くじらのそばろどんぶり」に愛知県産のたまねぎ、「ツナじゃが」に愛知県産のじゃがいも、「愛西野菜の塩こんぶ和え」に愛西市産のれんこんやみつばを使用した献立を実施した。



【愛西市や愛知県の食材を多く使用した献立】

〔献立〕
ごはん 牛乳
くじらのそばろどんぶりの具
ツナじゃが
愛西野菜の塩こんぶ和え

また、6月発行の「食育だより」では、児童生徒に当日の給食へ関心を高めることを目的に、市内の小学校と中学校の各1校に愛知県の地場産物を紹介する記事の作成を依頼した。児童生徒の記事には、れんこんやキャベツについての栄養的特徴やこれらの食材を活用した料理レシピが紹介されていた。たよりを読んだ児童からは、「れんこんのレシピがおいしそうなので、自分も作ってみたい」という声が聞けた。

これらの取組を通し、自分たちの住んでいる地域に興味・関心をもち、進んで食べる子を育てていきたい。

設楽町

設楽町では、6月19日の「愛知を食べる学校給食の日」に、設楽町や近隣町村である豊根村産の食材を使用した献立を実施した。啓発資料には、給食に使用した地場産物の紹介や、「愛知を食べる学校給食の日」の意義について知らせる内容を記載し、この献立を通して自然の恵みや、生産に関わる人々への感謝の気持ちを育む機会とした。



〔献立〕
きしめん 牛乳
きつね汁
にじますのいそべ揚げ
ゆでブロッコリー
ブルーベリー蒸しパン

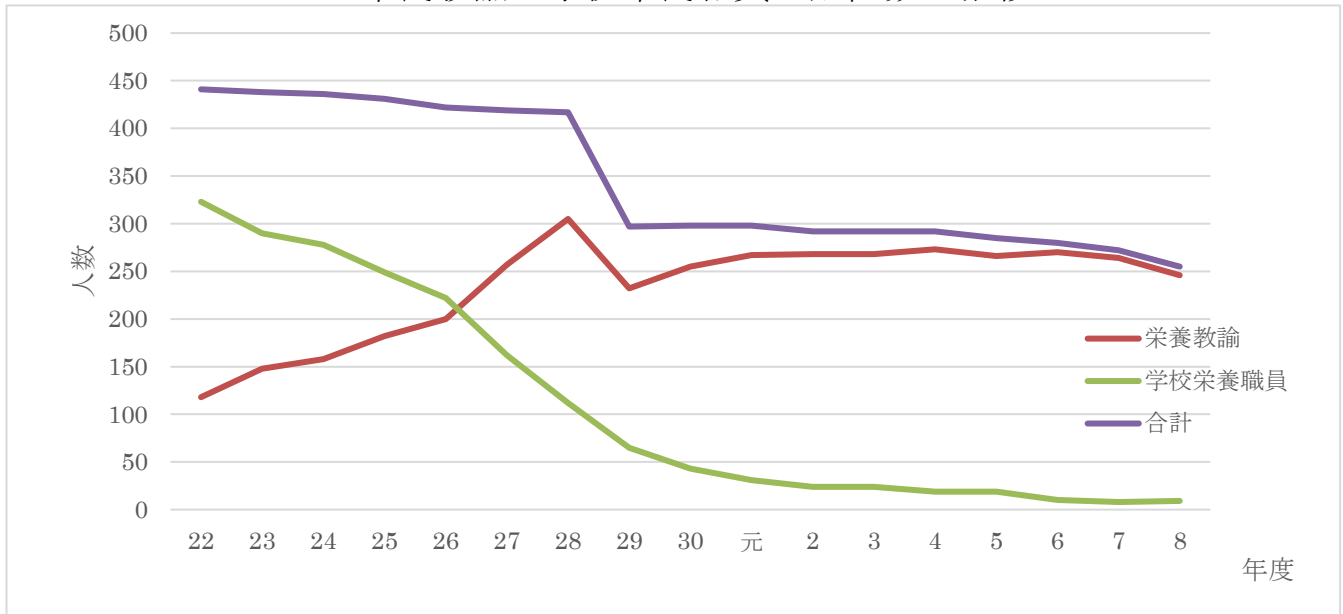
地場産物として、設楽町産のにじますを使用したいそべ揚げや、豊根村産のブルーベリーを使用したジャムを手作り蒸しパンにした献立を実施した。また、牛乳、ブロッコリー、油揚げに使用した大豆は愛知県産を使用した。これらの地場産物を取り入れた学校給食を味わった児童生徒は、「設楽町産のにじますはおいしいね」「豊根村ではブルーベリーが有名なんだ」と友達と会話を交わし、地元の食べ物を身近に感じている様子が見られた。

食を味わった児童生徒は、「設楽町産のにじますはおいしいね」「豊根村ではブルーベリーが有名なんだ」と友達と会話を交わし、地元の食べ物を身近に感じている様子が見られた。

【設楽町や豊根村の食材を多く使用した献立】

V 栄養教諭・学校栄養職員の配置状況

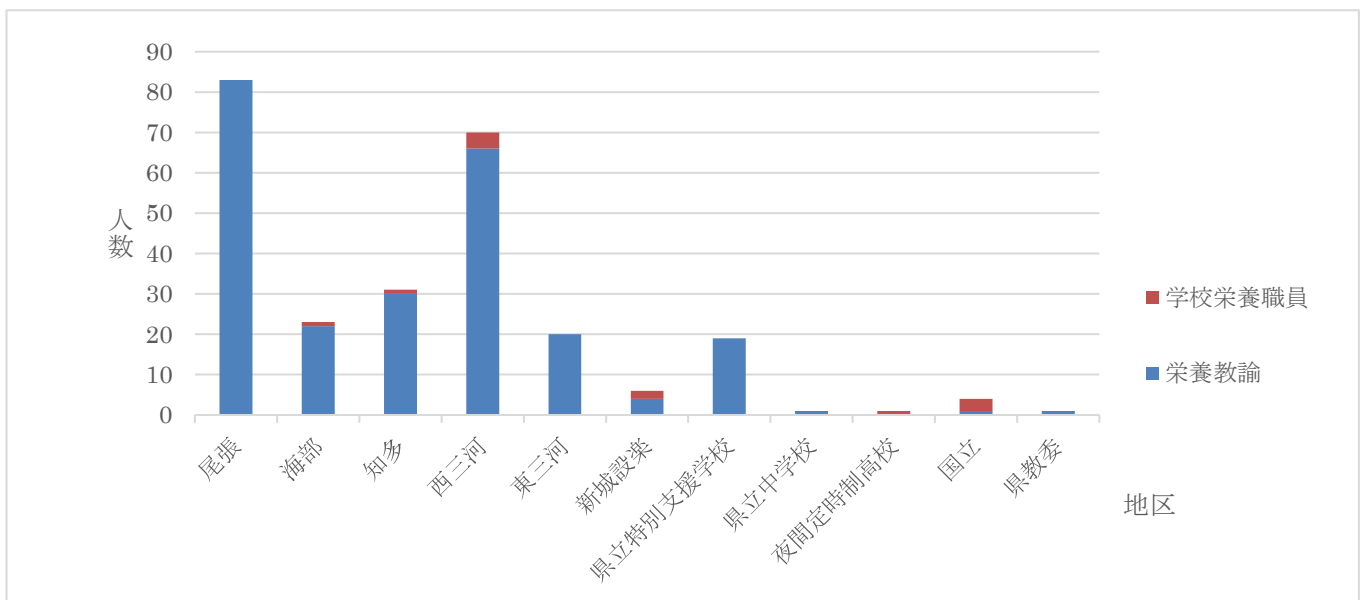
栄養教諭・学校栄養職員の配置数の推移



年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	8
栄養教諭	118	148	158	182	200	257	305	232	255	267	268	268	273	266	270	264	246
学校栄養職員	323	290	278	249	222	162	112	65	43	31	24	24	19	19	10	8	9
合計	441	438	436	431	422	419	417	297	298	298	292	292	292	285	280	272	255

※令和8年度 本協議会調査より
 他に栄養教諭の充て指導主事を平成20年度から1名配置
 権限移譲のため、平成29年度から名古屋市を除く
 国立、市町村採用は除く

各地区栄養教諭・学校栄養職員の配置状況



各教育事務所等	尾張	海部	知多	西三河	東三河	新城設楽	県立特別支援学校	県立中学校	夜間定時制高校	国立	県教委
栄養教諭	83	22	30	66	20	4	19	1	0	1	1
学校栄養職員	0	1	1	4	0	2	0	0	1	3	0

※令和8年度 本協議会調査より
 市町村採用除く

VI 沿革

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
49	6	学校栄養職員を教育的専門職員として制度上明確化			
	11	97名の学校栄養職員の県費負担職員に切り替え			
	12	第1回学校給食調理コンクール開催			
50	4			愛知県学校栄養職員研究協議会発足	初代 高木 節子
	11	第2回中日本学校給食研究協議会及び全国学校給食総合センター運営協議会を愛知県で開催			
51	4	学校給食に米飯導入			2代 遠山 香代子
52	8			全国夏季講習会開始・参加	
	3			機関紙「みのり」発刊 総合研究発表大会	
53	1	「米飯給食献立集」を作成し、全校に配布			
	3	「学校給食の管理と指導（三訂版）」発行			
54	11	児童生徒の家庭における栄養調査、食事状況等調査及び体位、体力調査実施			
	3	「学校給食の栄養指導」発行			
55	7	小中完全給食実施校で100%米飯給食実施			
56	4	「主査」制度開始			
		「学校給食栄養基準量」改定			
	7	第16回全国高等学校給食協議会を開催			
	1			学校給食週間中、統一献立「カレーの日」を実施	
57	6		「日本学校健康会法」公布		
	7		特殊法人日本学校健康会設立		
58	3	「学校給食の栄養価早見表（改訂版）」発行	「新学校給食の手引き」刊行		3代 佐々木 禮慧子
59	4			校長会給食委員会合同研究参加	
	11	第34回愛知県学校給食大会開催（学校給食法制定30周年、愛知県学校給食総合センター設立10周年記念）			
	3	「学校給食の管理と指導（四訂版）」発行			
60	12		「日本体育・学校健康センター法」公布		
	3	「愛知県学校給食栄養基準量」改定		「学校給食の食事について」、 「学校栄養職員の職務内容について」	
62	4	小中学校米飯給食実施校の回数 が、週2回以上実施			
63	7		文部省の「学校給食課」と「学校保健課」が統合し、「学校健康教育課」が発足		
	3	「特殊教育諸学校における所用栄養量の基準」を算出			
元	11		学校給食100周年記念大会を開催		4代 山崎 璋子
2	4	「主任専門員」誕生	新規学校栄養職員研修が始まる		
3	4		中堅学校栄養職員研修が始まる		
	3	「学校給食の管理と指導（五訂版）」発行			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
4	7		「学校給食指導の手引き」発行		4代 山崎 璋子
5	4	中学校学習指導要領改訂「個性を生かす教育」生活科の新設「技術・家庭科」男女共学、「食物」35時間へ「栄養素の機能・正しい食品の選択」を重視			
6	4	高等学校「家庭科」を男女必須へ			
	3		体育局長通知「学校給食の食事内容について」が出され、「学校給食所要栄養量の基準」が改定		
7	5			「20周年記念誌」発行	
	11			愛知県学校栄養職員研究協議会文部大臣表彰	
8	4	教育長通知「学校給食の食事内容（標準食品構成表の改訂）について」			
		愛知県教育委員会保健体育課に専門員が配置される			
	7		腸管出血性大腸菌 0157 による食中毒の発生		
	8		体育局長通知「学校衛生の基準」の一部改正	「衛生管理面に配慮した献立の工夫－研究授業方式による衛生管理研究会－について」実施開始	
9	4	「学校給食における生野菜の取り扱いについて」通知	体育局長通知「学校給食における衛生管理の改善充実及び食中毒発生の防止について」の中で、「学校給食衛生管理の基準」が示される 「保健体育審議会」答申で、新たな免許制度の導入による学校栄養職員の資質向上策の必要性を指摘される		5代 吉見 成子
10	6		「『食』に関する指導の充実」について通知がなされ、学校栄養職員を特別非常勤講師に活用する取組の推進が図られる		
	12	「特別非常勤講師としての学校栄養職員の活用について」を通知	「小学校及び中学校学習指導要領」改訂		
11	3	「学校給食の管理と指導（六訂版）」発行			
	4	政府米を自主流通米（愛知県）に切り替え			
13	5		「学校給食における食事内容について」改定		
	4	パンの新規格4種類と白玉うどんが給食に登場			6代 住井 久子
10	第52回全国学校給食研究協議大会を愛知県で開催				
14	3		食生活に関する学習教材及び指導用解説書が作成される		
	4		中学校学習指導要領改訂、「生きる力」の育成、「総合的な学習の時間」の新設、「中央教育審議会」答申で栄養教諭（仮称）制度などの創設を提言		
15	8	「食に関する指導者養成講座」を開催			
	9	給食にラーメン登場			
	3	「学校栄養職員執務記録簿について」を通知			
16	5		「学校教育法等の一部を改正する法律案」が成立栄養教諭が配置できることになる		

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
17	4		栄養教諭制度の創設、施行		
	6		「食育基本法」成立		
	7		第一回食育推進会議開催		
	8	第46回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会を愛知県で開催			
	3		食育推進基本計画策定		
18	4	任用替え試験により10名の栄養教諭の誕生			7代 林 紫
	5			愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会に名称変更	
	11	「あいち食育いきいきプラン」第1次計画の策定		愛知県食育推進会議関係団体となる	
	2			「30周年記念誌」発行	
	3		「食に関する指導の手引」発行		
19	7			食に関する指導研修会（自主研修会）開始	
	3		「学習指導要領」改定（学校における食育の推進が明記される）		
20	4	任用替え試験により67名の栄養教諭の誕生（市町村1名配置） 愛知県教育委員会健康学習課指導主事として栄養教諭が着任	小・中学校学習指導要領が公示 小中学校間共通の家庭科内容の体系化		
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」発行 「学校給食調理場における手洗いマニュアル」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアル Part1」発行 「食生活学習教材児童生徒用と指導者用」作成		
21	4	新規栄養教諭採用開始	学校給食法が昭和29年施行以来の大幅改正学校給食の主な目的が従来の「栄養改善」から「食育」に転換 「学校給食実施基準」全面改正（摂取基準の改定） 「学校給食衛生管理基準」制定		
	6		「食育基本法」最終改正		
	3	「学校給食における食物アレルギー対応の手引き」を作成	「食に関する指導の手引（第一次改訂版）」発行 「調理場における洗浄・消毒マニュアル Part2」発行		
23	5	「あいち食育いきいきプラン2015」第2次計画の策定			
	2	「愛知県学校食育推進の手引」発行			
	3		「学校給食調理従事者研修マニュアル」発行		
24	4			愛知県栄養教諭学校栄養職員研究協議会運営検討委員会発足	
	12		新年度の学校給食における食物アレルギー等を有する児童生徒等への対応等について通知		
	3	「愛知県学校食育推進の手引《実践編》」発行 学校給食モニタリング事業の実施（放射性物資の有無及び量について）			

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
25	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		8代 杉浦 立子
	7		学校給食における窒息事故の防止について通知		
	10	就学児保護者向け朝食啓発資料「早寝・早起き・朝ごはん」で生活リズムをつくろうリーフレット」発行			
	11	「学校食育資料(高校生向け資料)」発行			
	3		「学校給食施設設備の改善事例集」発行		
26	3	「学校給食の管理と指導（七訂版）」発行 「学校給食における食物アレルギーヒヤリハット事例集」発行	「学校給食における食物アレルギー対応指針」発行		
27	2	「学校における食物アレルギー対応の手引」発行			9代 杉野 由起子
	3	「あいち食育いきいきプラン2020～第3次愛知県食育推進計画～」公表		「40周年記念誌」発行	
28	1	「学校における食物アレルギー対応保護者向けリーフレット」発行			10代 林 紫
	3		「学校指導要領」改訂（学校教育活動全体を通じた組織的・計画的な食育の推進が示される） 「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～」発行		
29	11	「愛知県教員育成指標（栄養教諭）」の策定			11代 古林 郁子
30	8		学校給食実施基準の一部改正について施行		
	1	「学校における食物アレルギー対応の手引～特別支援学校版～」発行			
	3		「食に関する指導の手引（第二次改訂版）」発行		
元 (31)	5			愛知県栄養教諭研究協議会に名称変更	12代 小田 敦子
	3		「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》」発行 新型コロナウイルス感染症対策のため、3月2日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、全国一斉臨時休業になる。		
2	4	愛知県に緊急事態宣言が発令されたため、4月7日より小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、臨時休業が延長になる。			
	5	5月18日から24日まで学校再開準備期間となる。 5月25日から、分散登校・時差登校を基本として、学校を再開する。			
	6	6月1日から通常授業になる。			
	3	「あいち食育いきいきプラン2025～第4次愛知県食育推進計画～」公表	「第4次食育推進基本計画」が食育推進会議（会長：農林水産大臣）で決定		

年度	月	愛知県	国・文部科学省	本協議会	歴代会長
3	4		学校給食実施基準の一部改正について施行		13代 堀端 千鶴
	5				
	9			地区別研修会 (自主研修会) 開始	
	3	「愛知県学校食育推進の手引―第1次改訂版―」発行			
4	6			第17回食育推進全国大会 in あいちに出展	
	7			栄養教諭経験年数別研修会 (自主研修会) 開始	
	1		「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議 議論の取りまとめ」公表		
5	4		健康日本21(第三次)の運用開始		14代 服部 裕子
	5				
	12			資質能力向上研修 (自主研修会) 開始	
	3		食に関する健康課題対策支援事業 「栄養教諭が行う個別的な相談指導実践事例集」発行		
6	8		「全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会」と「全国学校給食研究協議大会」が統合され、「全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会」になる		
	3		食に関する健康課題対策支援事業 「栄養教諭が行う個別的な相談指導実践事例集」発行		
7	4		「栄養教諭等による食に関する指導等の充実について」通知		15代 毛利 敦子
	5				
	3	「学校給食の管理と指導(八訂版)」発行 「あいち食育いきいきプラン2030～第5次愛知県食育推進計画～」公表		「50周年記念誌」発行	
8	4		「学校等におけるアナフィラキシーショック時のアドレナリン点鼻液(ネフィー®)の投与について」通知		

VII 令和8年度 愛知県栄養教諭研究協議会役員・理事名簿

会 長	毛 利 敦 子	一宮市立大徳小学校
副 会 長	下 郷 加奈子	阿久比町立英比小学校（阿久比町立学校給食センター）
”	戸 本 綾 子	春日井市立篠木小学校（春日井市東部第2調理場）
書 記	二 村 翠	刈谷市立小垣江小学校（刈谷市第一学校給食センター）
”	神 谷 真 奈	豊橋市立東部中学校（豊橋市東部学校給食センター）
会 計	佐々木 幸 香	犬山市立犬山南小学校
県代表者	丸 山 真奈美	西尾市立鶴城小学校
常任理事	杉 野 由起子	瀬戸市立にじの丘小学校（小中一貫校 にじの丘学園）

【地 区 理 事】

愛 日	佐 藤 綾 香	小牧市立小木小学校（小牧市南部学校給食センター）
”	新 城 亜由美	瀬戸市立效範小学校
”	古 田 淑 子	長久手市立南小学校（長久手市立長久手給食センター）
中 島	木 村 睦 子	一宮市立木曾川中学校
丹 葉	五 島 すみれ	犬山市立犬山中学校
海 部	服 部 理 子	大治町立大治南小学校
知 多	中 岡 友 恵	大府市立大府北中学校
”	西 尾 絵 美	東海市立平洲中学校（東海市立学校給食センター明倫調理場）
西 三 河	永 田 祐 己	岡崎市立福岡中学校（岡崎市南部学校給食センター）
”	牧 ひとみ	高浜市立高浜中学校
”	伊 藤 学	西尾市立吉田小学校（西尾市学校給食センター）
豊田みよし	川 合 彩 華	豊田市立堤小学校（豊田市南部給食センター）
東 三 河	宮 下 茜	豊川市立一宮中学校（豊川市学校給食センター）
”	小 菅 理 恵	豊橋市立幸小学校（豊橋市曙学校給食センター）
特別支援	山 内 雅 代	愛知県立岡崎盲学校